

授業で使える写真素材 Ⅲ－８

「ストーリーを完成させよう」(45～50 分) 対象／小学生・中学生・高校生

1. プログラムの趣旨

- ・自然の存在とそのかけがえのなさ・畏敬の念（道徳）
- ・郷土に対する愛着や郷土意識（道徳）
- ・望ましい人間関係の確立（学級活動）
- ・防災のための安全な地域づくりとその取り組み（総合的な学習の時間）

2. ねらい

防災に関するグループワークを通して、自然への畏敬の念や郷土への意識を深め、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てる。

3. 展開

段階	学 習 内 容	教師の支援・指導上の留意点
導入 (5分)	①指示書を読み、課題の内容を理解する。 4枚のイラストを見て、それぞれどんな場面か想像する。 ・穏やかな青い海の絵 ・津波が起きた海の絵 ・女子生徒が様々に想像をしている場面の絵 ・女子生徒が防災の授業を受けている絵	・4枚のイラストを見せる。指示書にしたがって活動するように説明する。 準備物 ①～⑥までをグループごとに、大きな封筒や箱に入れておくとう便利 ①指示書（グループ1枚） ②グループ分4枚の紙芝居イラスト ③白紙の紙芝居用紙1枚 ④題名の紙1枚 ⑤終わりの紙1枚 ⑥ストーリー作成書（グループ1枚） ※色鉛筆、ペンなどの文具類
展開 (35～40分)	②「ストーリーを完成させよう」。 ・4枚の紙芝居イラストの順序を自由に並べ変え、さらにグループで話し合い、もう1枚イラストを協力して描き、その1枚を追加して、「愛する海・私たちの街」というテーマの紙芝居を完成させる。 ③グループごとに発表する。	・グループ内での話し合いを通して、お互いの知恵を出し合い、問題を解決させようとする態度を育てる。 ・全員が話し合い積極的に参加しているか、絵を描く、ストーリーを考える、メモをとって意見をまとめるなどの協力ができているか、机間巡視する。 ・グループの紙芝居発表に向けて役割分担、（ストーリーを読む人や、めくる人など）の話し合いができているか、机間巡視する。 ・グループごとに発表させる。 ・グループでの発表を通して、他の班の考え方や他の班の協力の様子、工夫点などに気づかせる。
まとめ (5分)	④グループワークと今日の学習のふりかえりをする。	・ふりかえりプリントを配付し、記入させる。

イラスト：山田 不朽子

愛する海・私たちの街

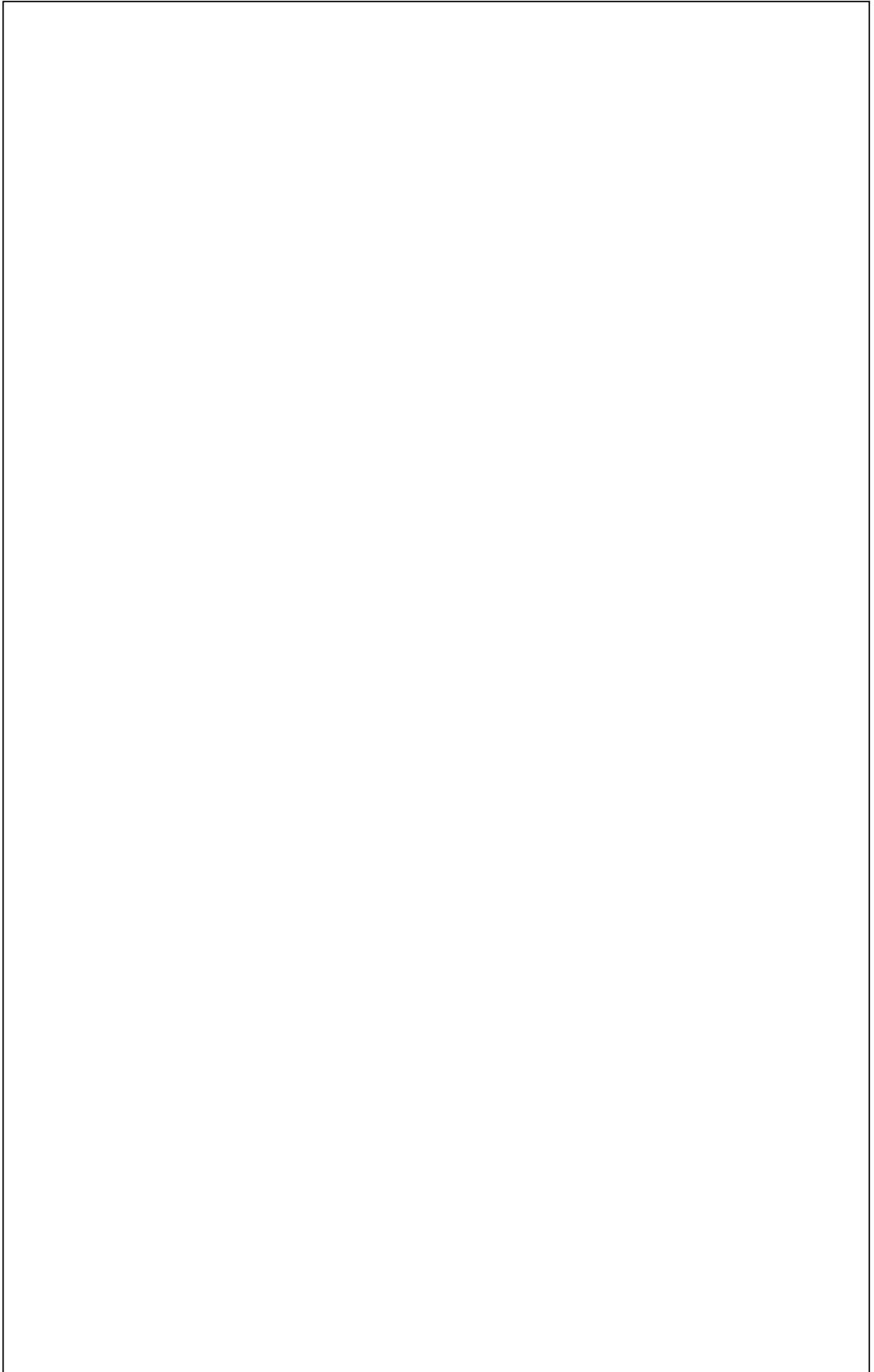






災害の時避難の時 必要なモノは？





「ストーリーを完成させよう」指示書

- 1. みなさんへの課題は、班（グループ）全員で協力し、「愛する海・私たちの街」というテーマで、ハッピーエンドなストーリーを考え、紙芝居にして、発表することです。**
- 2. 紙芝居の絵は全部で5枚です。その中の1枚は白紙なので、班（グループ）全員で協力してストーリーに合うような絵を描きます。**
- 3. 班（グループ）全員で話し合って、5枚のイラストを自由に並べ変えてストーリーを完成させます。**
- 4. 題名と終わりの紙は、自由に使ってかまいません。**
- 5. イラストとストーリーができたら、紙芝居発表のための分担を決め、練習をしてください。**
- 6. 制限時間は、先生が「スタート」と言ってから20分とします。紙芝居発表の時間は3分以内とします。**

「愛する海・私たちの街」ストーリー作成書

_____班（グループ）

紙芝居のストーリー原稿(せりふ)	
題名	
1枚目	
2枚目	
3枚目	
4枚目	
5枚目	
終わり	

「ストーリーを完成させよう」ふりかえりプリント

年 組 番 氏名

1. 自分のグループでの活動をふりかえって、話し合いでリーダーシップをとったり、みんなの意見をまとめたり、絵を描いたり、メモをしたり、時間配分をみんなに声かけしたり、紙芝居を進んで読んだり、役になりきったり・・・など、今日の活動の中で見つけたり気づいたりした、友だちのよいところを書いてみましょう。
2. 自分がグループの中で、協力したことやがんばったことはどんなことでしたか？
3. 他のグループの発表で、協力や工夫をしていたところを書いてみましょう。
4. 今日の学習の中で、印象に残ったことを書いてみましょう。